

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和04年06月24日(金)

事務事業		文化財活用事業			担当課	文化振興課	担当係	文化財保護係	管理番号	6165
総合計画	大項目	2	次代を担う人と文化を育むまち			事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務			
	中項目	2	誰もが生きがいを持ち学ぶことのできるまちづくり			根拠法令 個別計画等	深谷市文化財保護条例			
	小項目	2	郷土の歴史・文化の継承と活用							
	主要プロジェクト	0	(未使用)							
事業概要		文化財保護のためには市民による理解が不可欠である。文化財を調査した成果について、できるだけ多くの市民に対して情報を提供する事業を行う。また、貴重な文化財を後世に伝えるための支援事業を行う。								
目的 ※何のために		市内にある文化財を保存し活用するため。								
対象 ※誰・何を対象に		市民を対象とする事業と文化財の所有者に対する事業								
手段 ※どのように		文化財の公開講座の開設、無形民俗文化財の記録保存・体験事業、文化財に関する管理費補助								
成果 ※何を求めるか		文化財に対する保護や理解を得ることを目的とする。								
執行体制		<input type="checkbox"/> 職員 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO等 <input type="checkbox"/> その他()								
事務事業を構成する 予算事業		区分	款		項		目		細事業名	前年度決算額(円)
		一般会計	10	教育費	5	社会教育費	5	文化財費	無形民俗文化財後継者育成補助事業	127,494
		一般会計	10	教育費	5	社会教育費	5	文化財費	文化財活用事業	10,483,765
本事業の 主な業務		・ 指定文化財保存事業費補助					・ 文化財の管理費補助			
		・ 無形民俗文化財記録作成					・ 無形民俗文化財体験学習			
		・ 発掘調査説明会の開催					・ 国史跡幡羅官衙遺跡群の保存活用計画策定			
		・ 展示会の開催					・			
		・ 歴史講座の開催					・			
		・ 無形民俗文化財の後継者育成事業					・			

2. 事業費(投入コスト)

単位: 円

区分		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
年度別計画		指定文化財保存事業修繕民俗文化財後継者育成補助	国史跡指定記念シンボジウム民俗文化財後継者育成補助	幡羅遺跡保存活用計画策定民俗文化財後継者育成補助	幡羅遺跡保存活用計画策定民俗文化財後継者育成補助	幡羅遺跡保存活用検討民俗文化財後継者育成補助	幡羅遺跡保存活用検討民俗文化財後継者育成補助
事業費	予算(現額)	3,411,000	7,359,000	9,908,000	15,154,000	14,426,000	8,050,000
	決算額	2,618,293	6,407,311	8,296,242	12,223,425	10,611,259	0
	財源内訳	国支出金	0	328,703	1,050,000	1,165,000	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		他特定財源	292,300	147,500	239,200	241,918	70,000
	一般財源	2,325,993	5,931,108	7,007,042	10,816,507	10,186,959	7,980,000
人件費	従事職員数(人)	1.35	1.25	1.55	1.55	0.55	2.40
	人件費相当試算※	10,501,650	9,727,500	12,184,550	12,610,800	4,269,054	19,515,235
総事業費試算		13,119,943	16,134,811	20,480,792	24,834,225	14,880,313	27,565,235

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		目標値	単位	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
			実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
活動指標 1	文化財展示会回数		目標値	件	2	2	2	2	2	2
			実績値		2	1	2	0	1	0
	目標値の算定根拠/実績値の出所			年2回の開催を標準とする。						
	実績値の算出式									
	活動指標 2	現地説明会回数		目標値	回	2	2	2	2	2
		実績値	1	2		1	0	1	0	
目標値の算定根拠/実績値の出所			年2回の開催を標準とする。							
実績値の算出式										
活動指標 3		指定文化財管理・保存事業費 補助金交付件数		目標値	件					
			実績値	38		39	40	38	38	0
	目標値の算定根拠/実績値の出所			目標値は設定しない						
	実績値の算出式									
	成果指標 1	文化財展示会来場者数		目標値	人	1000	1000	1000	1000	1000
		実績値	1354	747		1338	0	572	0	
目標値の算定根拠/実績値の出所			1つの展示会あたり500人を目標とする。							
実績値の算出式										
成果指標 2		現地説明会参加者数		目標値	人	280	280	280	280	280
			実績値	130		600	296	0	63	0
	目標値の算定根拠/実績値の出所			一つの説明会あたり約140人を目標とする。						
	実績値の算出式									
				目標値						
		実績値								
目標値の算定根拠/実績値の出所										
実績値の算出式										

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に合う成果がでているかを評価します。
(評価基準) (A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない)

(1) 事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	B	文化財展示会及び現地説明会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止により、開催の見送り及び開催規模の縮小による開催だったため、目標に届かなかった。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	B	文化財展示会及び現地説明会は、開催の見送り及び開催規模を縮小しての開催であったため、現地説明会の来場者数は目標に届かなかったが、国史跡幡羅官衙遺跡群の保存活用については、策定した保存活用計画に基づき、公有化に向けた鑑定評価の方法や公有化スケジュールの作成を進めることができた。
			評価者 文化振興課 田邊恵美

(2) 事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
(評価基準) (A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない)

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	B	歴史講座等の申し込み方法にオンライン申請を導入し、申請手続きの効率化を図ることができた。
			評価者 文化振興課 田邊恵美

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和2年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	現地説明会等の開催方法等を検討し、調査成果などを学べる機会を提供する方法を検討する。
達成状況及び その効果	文化財展示会及び現地説明会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止により、開催の見送り及び開催規模縮小による開催であったが、市民に情報提供し、文化財に対する情報発信及び理解を深める機会を提供できた。

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	文化財活用事業	担当課	文化振興課	担当係	文化財保護係	管理番号	6165
<div><div><div><input type="checkbox"/> ① 拡充, 重点化(コスト投入)</div><div><input checked="" type="checkbox"/> ② 現状のまま継続</div><div><input type="checkbox"/> ③ 見直して継続</div><div><input type="checkbox"/> ④ 目的達成による終了</div><div><input type="checkbox"/> ⑤ 廃止を検討</div></div><div><div><input type="checkbox"/> 委託化等の検討</div><div><input type="checkbox"/> 成果向上のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 効率化のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 事業規模の縮小</div><div><input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合</div></div></div>		評価の内容説明					
文化財の企画展や講座を開催するなど歴史や文化財を学べ、関心興味を持つ事業を今後も実施することが必要であるため、現状のまま実施し、文化財等の保護を図る必要がある。							
上記を実施するための具体的な取組内容は？		評価者	文化振興課長 持田 淳				

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和4年度に実施する 改善・改革案 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	現地説明会等の開催方法等を検討し、調査結果などを学べる機会を提供する方法を検討する。
令和5年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	

8. 評価指標グラフ

